

# 年頭挨拶 国宝の備前刀「山鳥毛」を 日本刀の聖地 備前長船へ



瀬戸内市長  
武久 顕也

明けましておめでとうございます。皆さま方には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年10月1日に、市が所有する錦海塩田跡地で民間の太陽光発電所「瀬戸内 Kirei 太陽光発電所」の商業運転が始まりました。供給する電力は瀬戸内市の総世帯の5倍を超える約8万世帯分の235メガワットとなり国内最大級の太陽光発電所です。今後は、錦海塩田跡地で得られる土地の貸付料収入などを生かし、安定的かつ積極的なまちづくりを進めます。

また、本市では戦国武将・上杉謙信の愛刀で備前刀の最高峰といわれる国宝「太刀無銘一文字（号・山鳥毛/やまとりげ）」（通称さんちょうもう）を、その生まれ故郷である備前長船の地に里帰りさせるためのプロジェクトを、昨年11月から始めました。

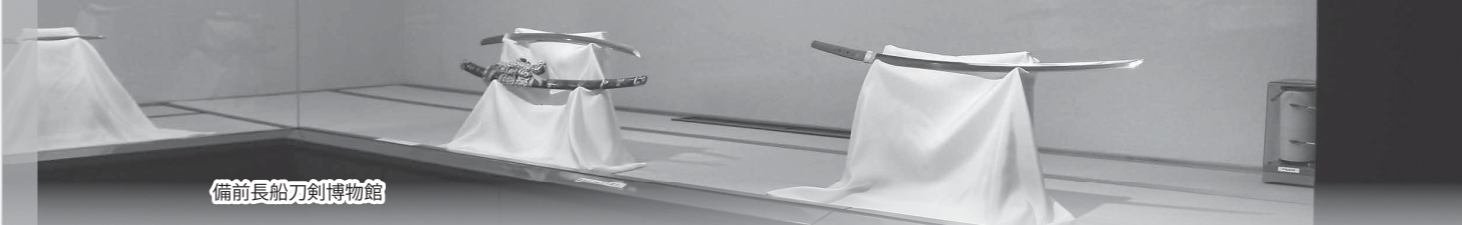
瀬戸内市長船町を中心とした地域は、中世を通じて全国一の日本刀の生産量を誇り、「日本刀の聖地」とも呼ばれてきました。しかし、現在は備前長船の刀工は市内でわずか数人のみとなり、また、備前長船刀剣博物館には国宝・重文級が一口も所蔵されておらず、その伝統文化や技術の継承が危ぶまれています。

国宝「山鳥毛」は今、岡山県在住の個人所有になっていますが、かねてから県外への流出が懸念されています。このため、生まれ故郷である備前長船の地にぜひ里帰りさせようと、瀬戸内市は「山鳥毛里帰りプロジェクト」を立ち上げたのです。

プロジェクトでは、「山鳥毛」を購入するため、市民の皆さまの税金に頼らず、この刀の評価額である「5億円」の資金を調達することを目標に、寄附やふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施しています。

「山鳥毛」をゆかりのある瀬戸内市に戻し活用することは、私たちにとっての大きな誇りとなり新たな好循環を生み出すことでしょう。そして刀工の皆さまの作刀意欲と技術の向上にも計り知れない影響をあたえることとなると確信しています。皆さまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとりまして本年が、明るく希望に満ちた一年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



備前長船刀剣博物館

## 行政報告

Administrative Report

### 市長から

11月1日、備前刀の最高峰で国宝の「山鳥毛」が生まれ故郷である「備前長船」の地に里帰りするための「山鳥毛里帰りプロジェクト」クラウドファンディングを開始しました。

このプロジェクトは単に「山鳥毛」を購入する資金を集めるということにとどまらず、日本刀のすばらしさを国内外に発信するとともに、この刀を保有しようとする瀬戸内市をクラウドファンディングにより応援して下さる方々を増やしていく取り組みにしたいと考えています。

10月23日の帝国ホテル東京での記者発表においては、多くのマスコミ関係者の方に

出席をいただき、このプロジェクトに関心を持っていただくとともに、多くのテレビ、新聞などに取り上げていただきました。

現在このプロジェクトを推進するため、個人または団体（企業）による「山鳥毛里帰りサポーター」を募集するなど、この取り組みに賛同していただける方のご協力をお願いしているところです。

「山鳥毛」の購入が実現すれば、子どもたちへの教育や地域の活性化に寄与するだけでなく、刀工達の作刀意欲と技術の向上にも計り知れない影響があり、日本の匠の伝統を後世に継続発展させるという大きな社会的意識を持つものと確信しています。

さらに、観光面においても瀬戸内市の新たな魅力となり、一定の経済効果があるものと

のと考えています。

「山鳥毛」の購入については、市民の皆さまからもさまざまな意見をいただいておりますが、今後もさらに丁寧な説明を行い、ご理解をいただけるよう努めていきたいと考えています。

### 水害を想定した総合防災訓練の実施

11月24日、邑久中学校を会場に初めて風水害を想定した瀬戸内市総合防災訓練を市民・陸上自衛隊などとの関係機関約500人の参加をいただき、実施しました。

訓練内容につきましては、平成30年7月豪雨と同様の降雨を想定し、特別警報、河川の氾濫情報、土砂災害警戒情報などのさまざまな防災上重要な情報に対して、市の適切



邑久中学校体育館で行われた避難所開設訓練

### 用語の解説・備考

#### 山鳥毛

文化財登録名は、『太刀無銘一文字 山鳥毛』。昭和27年3月29日に国宝に指定。作風から鎌倉時代中期に現在の長船町長船で作られた備前刀で、福岡一文字派の作と考えられている。

戦国武将上杉謙信・景勝の愛刀として名高く、国宝『上杉家文書』中の「上杉景勝自筆腰物目録」に「山てうまう」と記されていることから、「さんちょうもう」と呼ばれている。

#### クラウドファンディング

不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。発明品の開発など、幅広い分野への出資に活用されている。

**新たな  
国の登録有形文化財の登録**

現在、瀬戸内市内には国の登録有形文化財として、牛窓地域に3施設が登録されていますが、11月16日に開催された国の文化財審議会の答申により、長島愛生園および邑久光明園内の建造物、計10件が新たに登録有形文化財に登録されることになりました。

国立ハンセン病療養所の建造物が有形文化財に登録されるのは初めてで、世界文化遺産登録に向けた大きな布石として、両療養所入所者自治会の皆さまとともに登録を歓迎しています。



国の登録有形文化財に登録されることになった長島愛生園歴史館（旧事務本館）

今回の登録を生かし、人権教育の場としての長島の存在感を高めるとともに、今後は世界文化遺産登録の要件である「顕著で普遍的な価値」を示すための、保存措置などについて研究と協議を進めていきます。

**認定こども園（裳掛地区）  
建設工事の進捗状況**

裳掛地区に建設中の認定こども園につきましては、9月末に着工し、現在工事を進めているところですが、東京オリンピックや今年の豪雨災害や台風災害などにより、資材の調達が難しい状況となっています。

このため、平成31年3月末としていた工事の完成予定が、現段階では非常に厳しい状況となってきました。既にこども園への入所申し込みも開始していることから、園舎の完成が遅れた場合は、現在の児童館において、職員を配置し、完成までの間お預かりする対応を考えています。

今後も早期完成を目指して工事を進めていきますので、ご理解のほどよろしくお願います。

**放課後児童クラブ（邑久地域）  
施設整備の進捗状況**

邑久地域で施設整備を進めている放課後児童クラブにつきましては、昨年度から設計を継続していましたが、基礎工事などに工事費の追加が必要となることが判明しました。

また、今年度末の工事完成を目指していましたが、補正予算議決後の発注となり、適正工期の確保も必要なことから、工事は次年度へ繰り越して行うこととなります。今後は、施設利用者の皆さまへの説明も行いながら、速やかに事業を進めていきます。

**豆田工業団地の売却**

平成24年度に設計に着手して以降、開発を行ってきた豆田工業団地ですが、地権者の方々や議会の皆さま方のご協

力により、開発区域全体の造成工事が終わり、平成30年10月に完成しました。

売却については、隣接の土地企業である株式会社岡山村田製作所様から、この工業団地取得の意思表示があり、交渉を重ね、現在、売却単価の決定を含め、用地の売り払いに関する最終調整を行っているところです。

この売却により、市が保有する工業団地はなくなる事となりますが、企業の立地動向を十分に注視し、市にとって有意義と判断できれば、新たな工業団地の指定に向け、検討したいと考えています。

**教育長から**

**山鳥毛里帰りプロジェクト**

市長からの行政報告でもご案内のとおり、11月1日、備前刀の最高峰で国宝の「山鳥毛」が生まれ故郷である「備前長船」の地に里帰りするた

書館でも、貸出と返却が可能となり、利便性が一層向上することとなります。

**瀬戸内市文化祭・  
備前長船菊花展の開催**



来場者を魅了した備前長船菊花展

生涯学習の中心的施設でもある公民館において、10月11日に瀬戸内市文化祭が開催されました。会場は中央・牛窓・長船町公民館の3会場で、公民館で生涯学習活動・文化芸術活動を行っている個人・グループの方々による学習や文化活動の成果の展示や発表が行われました。

また、県下最大規模を誇る菊花展として第32回備前長船



「山鳥毛里帰りプロジェクト」シンポジウム

めの「山鳥毛里帰りプロジェクト」クラウドファンディングを開始しました。

このプロジェクトについては市民の皆さまと備前刀や国宝「山鳥毛」について理解を深めるとともに、日本刀文化を生かした瀬戸内市のまちづくりについて考えるため、去る11月17日に「山鳥毛里帰りプロジェクト」シンポジウムを開催しました。

静岡大学名誉教授の小和田哲男先生に「刀剣と戦国武将」国宝「山鳥毛」がたどった道」と題して基調講演をしていただいた後、「山鳥毛」にゆかりのある方や刀剣愛好家などをパネリストに迎え、「国宝「山鳥毛」と備前刀の

菊花展を10月14日から11月15日まで開催しました。

展示会場には、市内外の菊づくり講座受講者や愛好家の皆さま92人による158点、1,040鉢余りの瀬戸内市の市花である菊が見事に咲き誇りました。11月6日からは夜間のライトアップを行い、夜の幻想美もご覧いただきました。

**備前長船刀剣博物館  
テーマ展の開催**

博物館では11月30日から平成31年2月11日まで、テーマ展として「甦った赤羽刀と長船分会展」を開催しています。

第二次世界大戦後、GHQの命令で関東周辺の日本文刀が赤羽に集められました。この時、有識者の交渉努力によって返還され、その後、全国の博物館などに分けて移管されました。

今回は、博物館に所蔵する107口のうち約40口を、苦難の時代を乗り越えた赤羽刀として展示を行います。

未来」と題したパネルディスカッションを行いました。

その中では、国宝「山鳥毛」の伝統工芸品としての価値や歴史的意義、瀬戸内市がこれを保有し、活用していくことの意義について意見交換があり、参加した多くの皆さまに聞いていただきました。

また、「山鳥毛里帰りサポーター」と題し、このプロジェクトを応援してくださる方を、市内外を含めまして広く募集を行っています。

このサポーターの皆さまには、このプロジェクトのPRやクラウドファンディングなどについて、知り合いや興味のある方への案内などの支援についてご協力をいただいています。



山鳥毛里帰りサポーター研修会の様子

**おかやま教育週間**

岡山県では、学校、家庭、地域社会が一体となって「地域の子どもは地域で育てる」という機運を盛り上げるため、毎年11月1日から7日までを「おかやま教育週間」としています。

本市では、各校園の実情に合わせて、10月1日から11月30日までの期間に、教育週間の活動として授業だけでなく、地域や保護者とのふれあい活動など、工夫を凝らした学校開放を行っています。

学校開放は、各校園の発表の場や地域の方々とのふれあいの場ともなっていることから、学校、家庭、地域社会が一体となって子どもたちを育てていける大切な機会と捉えています。

また、学校開放は、保護者や地域の方に子どもたちの活動や授業を自由に見ていただくいたり、地区の文化祭や講演会などの行事に参加いただいたりすることで、取り組みや

**図書館相互利用に参加している6市4町**

市名	町名
岡山市	和気町
玉野市	早島町
備前市	美咲町
瀬戸内市	吉備中央町
赤磐市	平成31年1月8日からこの6市4町内の図書館で相互返却が可能になります
真庭市	

10月1日から、岡山連携中核都市圏図書館相互利用に瀬戸内市も参加しました。これは、岡山市を中心とした6市4町の住民が、それぞれの図書館を相互に利用できるものです。

また、現在この相互利用の各図書館で借りた本は、借りた図書館にしか返却できませんが、平成31年1月8日から、相互利用参加図書館のどの図書館